

# 新型コロナウイルス感染症対策



## 2回接種完了80%超に全力傾注

**問** ワクチン接種の現状と課題を踏まえた今後の展開。

**答 町長** ワクチン接種券は、すでに対象者全員に発送済みで、予約受付は、全年齢の方が予約可能な状況である。

藤田医科大学病院での大規模接種会場への接種枠が頂けた場合には、速やかに予約ができるよう対応している。

課題は、ワクチン供給不足により、一般の方への接種が思うように進んでいないことで、現在、供給量の範囲いっぱいまで予約枠を設定している。無駄防止のため、キャンセル待ち対応者の登録を行っているが、接種完了者が増えることにより希望者の減少が懸念される。

11月中には、対象者の8割以上の方が2回接種を終えるよう今後の接種を進める。

**問** ワクチンの混在対策。

**答 民** 個別接種で提供されるワクチンは、ファイザー社製のみであり、混在することはない。

**問** 妊婦さんと、その家族に対する優先接種。

**答 民** キャンセル待ち登録をご案内し、キャンセルやワクチンの余剰が出た場合に、いち早く接種ができるようにすると共に、電話予約枠に一部妊婦優先枠を設定して対応している。

**問** 受験対象者（中三・高三）の優先接種。

**答 民** 町の個別接種においては、受験対象者の優先枠を設けていないが、大規模接種会場の枠が取れた際には、中学3年生の保護者に事前の情報提供を行い、一部優先受付を実施した。

高校3年生に対しては、県が学外での集団接種を実施するよう進めている。

**問** コロナワクチンの正確な情報提供。

**答 民** 厚労省の専用サイトや、本町のホームページなどの情報を確認して頂きたい。

**問** 自宅療養や入院の判断基準。

**答 民** 全て保健所の判断で行われており、それらの基準は、承知していない。

**問** 自宅療養者にパルスオキシメーターを無償貸与することへの見解。

**答 民** 無償貸与は、保健所のほか、本町でも独自に行っており、現在10個を常備している。

**問** 生活困窮者支援や孤立対策。

**答 民** 生活困窮者支援として、昨年度は、町税等の猶予を実施した。引続き、今年度も国保税等の減免や傷病手当金の支給を実施している。

社会福祉協議会での生活福祉資金貸付事業も拡充されている。

孤立対策として、買い物支援を実施している。

**問** 地域経済対策。

**答 建** 国より経済支援対策の一つとして、臨時交付金（事業者支援分）の追加交付が示された。

現在、それらの事業内容について検討している。

**問** 医療機関との連携強化対策。

**答 民** 常に協議を行い、相互の協力体制で事業を進めている。今後も良好な連携体制を保っていく。

**問** 小・中学校の活動制限する学力・体力低下などの影響と、今後の方向性。

**答 教育長** 一学期の学習カリキュラムは順調に進み、学力、体力の低下はないと考えている。

タブレットが活用できる環境整備や、心のケアにも十分配慮しながら、徹底した感染拡大防止対策を施していく。



山本 恭久 議員  
(黎生の会)